

平成 27 年度 菊川南陵高等学校評価

平成 28 年 3 月 31 日

学校法人南陵学園 菊川南陵高等学校長 金澤 大将

学校法人南陵学園 菊川南陵高等学校評価委員長 内山 力夫

教育目標

人格完成を目指し、教育基本法に従い社会で通用する人材の育成を期して行う

教育方針

- 1 人格完成を目指す文武教育
- 2 将来必要な「知力と体力と生きる力」の教育
- 3 社会で実践できる人材育成
- 4 個人の目標・目的を明確にした教育

本年度の重点目標

- 1 「学校で学び地域と共に育てる教育」を実施。
- 2 「高校からでも間に合う教育」の実践。
- 3 地域社会に貢献する人材育成を図り、地域の行事へ積極的な参加をする。
- 4 地域に開かれた学校づくり及び地域と共につくりあげる学校づくりを目指す。
- 5 進路意識を高め、進路目標を達成させる。

評価項目	具体的な方策または評価項目を評価する具体的な指標	成果と課題	自己評価	関係者評価	学校関係者の意見、提言等
学習指導の充実を図り、授業改善を実施する。	授業について興味が湧き、分かりやすい授業を心掛け、授業の工夫に努める。	高校からでも間に合う教育のローガンより、中学校の内容の復習も踏まえながら指導を行った。学習指導計画通りに進まない部分については、課題が残る。	B	B	
	教師自らが生徒の見本になるように教師も自己の向上に努め生徒を大切に育てる。校技である空手道の授業や安全教育、ビジネスマナー教育を通して「社会に即応できる人材の育成」に努めさせる。	授業開始、終了の合図（チャイム）が鳴らないが、まず教員が 5 分前行動をし、時計を見て始まる習慣の確立を目指した。 空手道は全校空手という形で、全教職員も一緒になっての指導にあたった。ビジネスマナーの授業やインターンシップを通じて、働くことの意味の育成や目標の確立を図った。	B	B	教師自らが率先に立ち、生徒たちと一緒に地域の方々と肌で触れ合うような教育を図って頂きたい。

	<p>道徳教育である論語教育を徹底し、五徳を学ばせ人間味ある生徒を育てる。</p> <p>道徳教育を通じて「五徳」を徹底し理解させる。</p>	<p>論語教育を推進し、心の教育を図った。教員の負担が大きい部分があるため、教材選定が課題である。</p>	C	C	
<p>特別支援教育を充実させる。</p>	<p>不登校の生徒、学力に悩んでいる生徒に対して燦々ルームの活用を学校支援員やカウンセラーの協力のもと、学力定着を目指しながら、安心して学校に通うことができるよう教育相談を図り、学びの場を整える。</p>	<p>燦々ルームでの授業展開を行い、特別教室での学力補充を行った。</p> <p>常時、支援員がおり、生徒が安心して学べる場を提供した。</p>	A	A	
<p>社会でも通用する人材の育成という教育目標を達成するために、生徒指導を実施する。</p>	<p>礼節を重んじ、社会で即戦力になれる人材の育成、南陵生としての自覚を持てるよう指導を行う。</p>	<p>頭髪検査を月に1度実施、自転車通学生を対象とした自転車装備確認等を定期的実施した。また、駅前や昇降口での挨拶運動を実施した。生徒へ自覚を持たせることや、検査等に該当した生徒をどのように手厚く指導していくかが課題である。</p>	B	B	<p>自転車通学生の自転車マナーが良くない場面を多々見られた。また、駐輪場に駐輪されている自転車も乱雑に置かれているため、整理整頓を徹底させてもらいたい。</p>
<p>第一志望合格に向けたきめ細かな指導を実施する。</p>	<p>生徒の学校に対する満足度を向上させるため、行事やインターンシップを活用して中途退学者を出さない徹底した教育活動、生活支援を実践する。</p>	<p>職場体験やインターンシップを多く実施し、生徒が目標を早期発見でき、確実な進路希望、進路実現ができるよう図った。インターンシップ先の事前指導や事前学習をより多く導入することが課題である。</p>	C	C	<p>応援企業よりインターンシップの依頼があったが、実施することができなかったことを踏まえ、応援企業との密なる連絡を取り合い、よりよい進路指導等を図って頂きたい。</p>
	<p>個人の能力や適性を細かく分析をし、就職から進学まで対応できるシステムを確立する。</p>	<p>データ化し、個人カルテという形で、生徒の家庭環境から進路希望まで様々な情報を細かく閲覧することができるようにした。学力についての区分内容が不足しているため、修繕が必要である部分もある。</p>	B	B	<p>就職や進学といった進路指導は引き続き充実させ、より良い指導を生徒たちに提供してもらいたい。</p>
	<p>応援企業の力を借り、キャリア教育の充実を図る。また、就職フェアを本校で実施し、在校生の魅力を知って頂く。</p>	<p>応援企業の会合を実施し、南陵高校への求人やビジネス指導を承諾して頂いた。就職フェアが実施できなかったことの課題は残るが、職場体験を実施できた。</p>	C	C	

校内外研修への意欲的な参加を推進する。	生徒理解を深め、南陵高校の職員の一人として組織及び地域に貢献できる教員を育成するための職員研修会を開催すると共に外部への研修会へ意欲的に参加させる。	各教科の研修会や部会の研修会に担当者が行くよう促し、研修会参加にあたって配慮した。研修会参加後にはレポート提出を課し、他の教員も共通理解できるよう努めた。	B	B	
学校情報の発信及び提供を実施する。	ホームページをリニューアルし、広報活動の充実を図る。学校活動の状況をブログで紹介し、積極的な情報発信に努める。体育祭や文化祭、夏祭り等の学校行事に多くの地域の方、保護者の方々に来ていただけるようホームページや南陵新聞を活用して、学校運営・行事運営を行う。学校教育の情報をホームページに積極的に掲載し、情報発信をする。	ホームページを6月26日にリニューアルし、利便性を図った。また、ブログも活性化し、情報公開に努めた。 各行事について、自治体の協力も得ながら広報活動を行い、終了後には活動内容をブログでの公開を行った。南陵新聞については、生徒会が作成し、各中学校に配布した。	A	A	
地域に根付いた学校教育を図り、家庭と連携した教育活動を実施し開かれた学校づくりを行う。	学校周辺の清掃や祭典、挨拶運動の実施など、生徒による地域への奉仕活動の推進を図る。 地域貢献活動を通じ、地域の清掃や公共機関の清掃活動を行い、必要とされる学校づくりを行う。 地域行事等へ積極的に参加し、多様な出会いの場から地域の方々に育てられ、見守られる学校づくりを図る。	地域貢献活動では、学校周辺の図書館や各教育機関等に清掃活動を行い、地元へ愛される生徒の育成を図った。文化祭では、「地域と共に創る文化祭」というテーマを掲げ、地域の方々にも出店して頂いたり、エンターテインメントとして、落語公園・花火・マジック等を生徒会が中心となりながら企画して、老若男女問わず誰でも楽しめる行事とした。	A	A	生徒の学校生活全般の様子が非常に良くなってきている。挨拶も気持ちよくしてくれ、これを是非続けて頂きたい。 過去にはなかった地域密着教育を益々の地域密着となった学校教育の推進をお願いしたい。 挨拶運動が一時的なものになってしまっているため、改善をお願いしたい。
	保護者の声や地域を吸い上げて、改善策を講じ、必ずそれを実現していく。	夏季休暇中に家庭訪問を実施し、家庭での要望や相談等に応じた。保護者会活動も充実させ、全教職員保護者会活動行事に参加した。	A	A	
	地域の方々に積極的に学校に入っただき、率直な意見を述べていただく。	常に学校公開として、その都度学校見学等に応じた。菊川市民生委員の視察で20名程の方々に学校見学をして頂くことができた。公開	B	B	

		広報活動に関して分かりづらく、学校はいつ運営されているのか分からないというようなご意見もあるため、改善が必要である。	(B)	(B)	
教育環境整備を実施し、教育施設の活用を図る。	教育環境の整備を図る。	全教室に Wi-Fi 環境を整え、新時代に合わせたの電子教育を進めた。破損個所の修繕に時間がかかることは改善が必要である。	B	B	
	体育施設の開放利用を積極的に推進する。	毎週水曜日と金曜日に空手道の道場として利用して頂いている。しかし、利用申請方法が分かりづらいということがあるため、改善が必要。	B	B	
積極的な渉外活動を実施する。	学則定員 160 名を満たす。	単願受験者数が 93 名と、昨年と同じ人数となってしまったことは課題である。	C	C	学則定員を満たすように学校全体で取り組んでもらいたい。また、地元生を確保できるような状況になれば地元も盛り上がり、活性化に繋がる。
	中学校教員を対象とした授業公開や説明会に多くの関係者に来校して頂く。 6 月には学校案内を作成し、中学校・学習塾等に配布できる体制を整える。 教育講演会ならびに体験入学及び学校説明会に創意工夫を図り、来校者を魅了できる会にさせる。 より分かりやすい学校説明会や体験授業を実施し、本校の魅力を伝える。また、学習環境やキャリア教育を整える。	教員対象説明会を 9～11 月の計 3 回実施し、35 校程の校長先生及び進路担当の先生に対しての学校説明、在校生との懇談会、授業見学をして頂き、南陵高校の教育特色を理解して頂けた。パンフレットも 6 月中旬には完成することができた。いずれも広報に進むまで時間がかかり過ぎていた部分について課題である。 学校ムービーを作成し、「見て楽しむ・分かる」をコンセプトに中学生を魅了できた。中でも複数回参加した生徒も多くいる。個別相談会を毎回設け、各家庭の悩み等も受け付けることができた。交通手段については、課題が多少残る。	B	B	課題があることは成長や目標があることで、課題を失ったときに、目標がなくなる。ネガティブな要素は取り除いてポジティブ思考で取り組んでもらいたい。

達成度【A:十分達成 (100%)、B:概ね達成 (80%程度)、C:変化の兆し (50%前後)、D:まだ不十分 (30%前後)、E:目標、方策の見直し (20%以下)】